

つるまい自治協議会



地域のつながりを大切に

はじめに

鶴舞地区では昭和35年から宅地開発で発展し人口も急激に増加して来ました。しかし近年、人口減少と少子高齢化による地域コミュニティの希薄化が進んでおり、これからの課題に対処するための中長期的な自治会活動が求められます。つるまい自治協議会は住民すべてが広く活動する事を目指して、地域住民と共に未来のビジョンを共有し地域の特性と課題に基づき、住民が安心して暮らせる地域づくりを進めるための道筋を示すものです。本計画の作成にあたり、多くの住民の声を反映させることで地域全体が一丸となった取り組みを可能し、安心安全な暮らしを目指します。

現状分析

令和6年4月1日現在の人口6715人 世帯数3414世帯
65歳以上の人口2364人、高齢化率35.2%

昭和40年代に学園前駅北部の丘陵地を大阪のベッドタウンとして開発され急激な人口増加となりました。アンケートの結果（参照）交通の便や生活環境が良い事で20年以上居住されている方が多いのが特徴ですが、高齢化も進んでいるのが現状です。

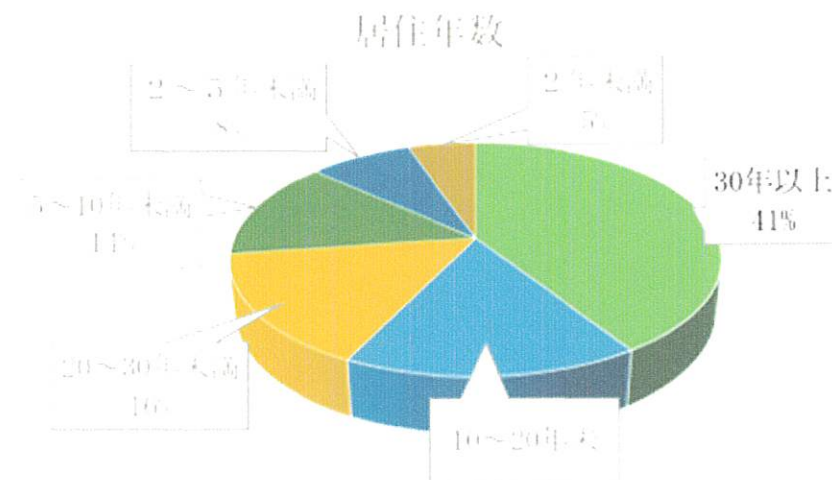
地域活動者の
高齢化

担い手不足

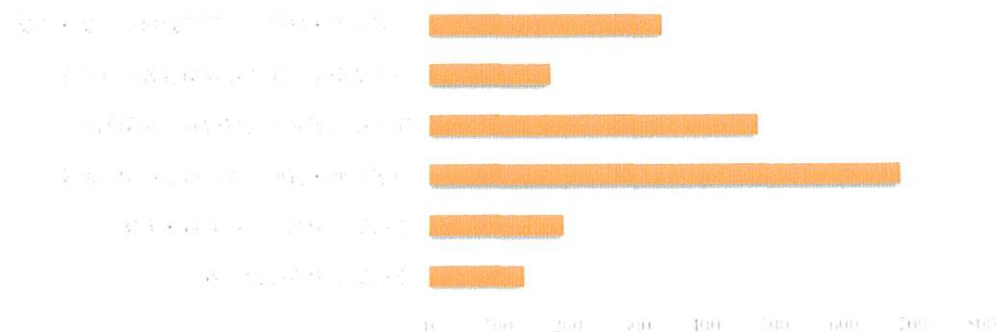
現役世代は
日中不在

現役世代＝
地域活動に接する
機会がない

20年以上が57%と6割近くを占める

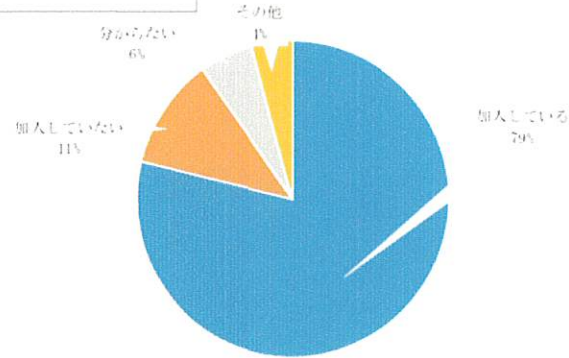


交通の便が良い34%、生活環境が良い23%で6割り近くを占める



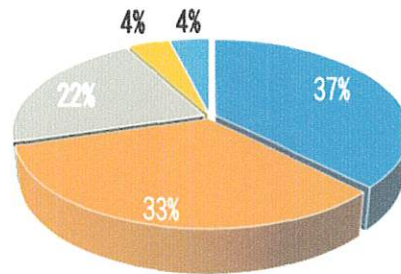
鶴舞地区図

問15 自治会に加入していますか

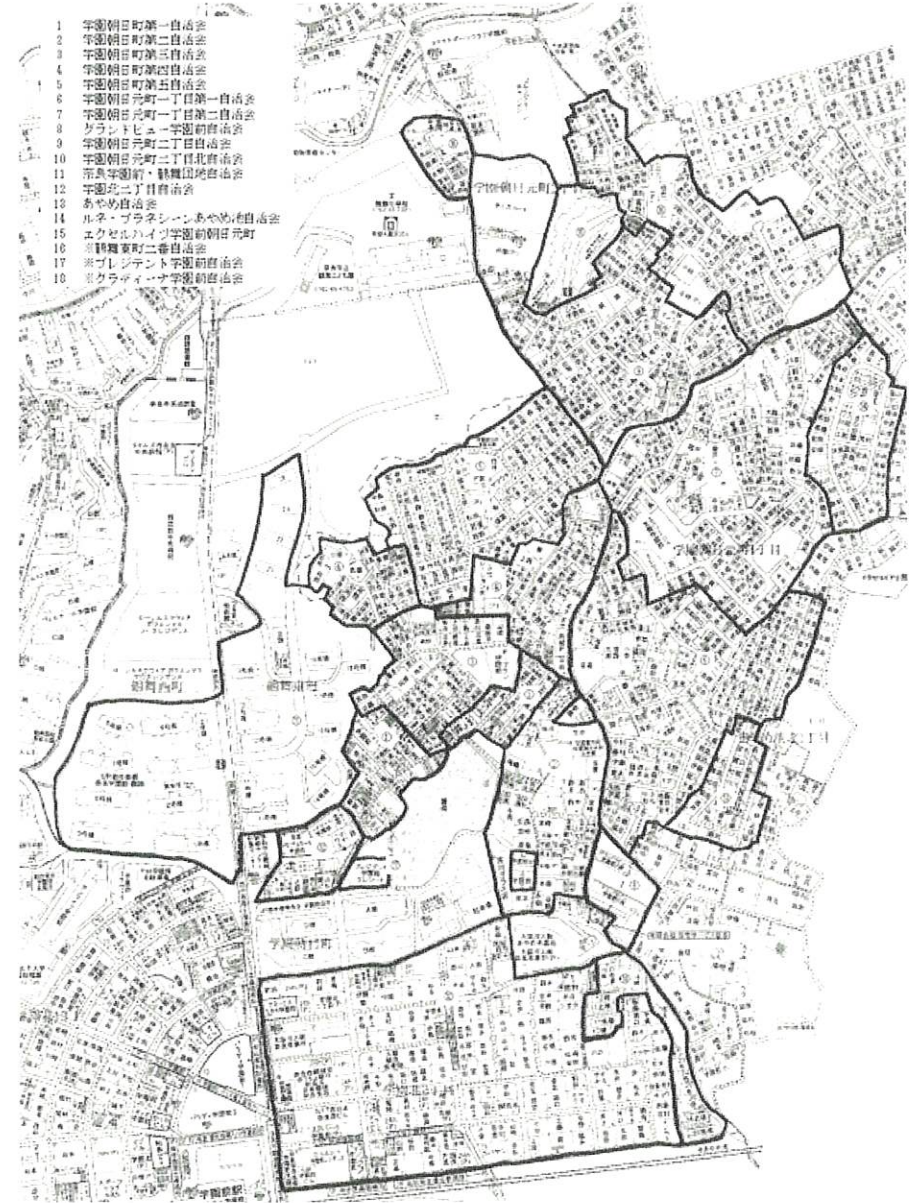


何らかの形で参加しているが、6割近くを占め、ほとんど参加していないが、4割近くを占める

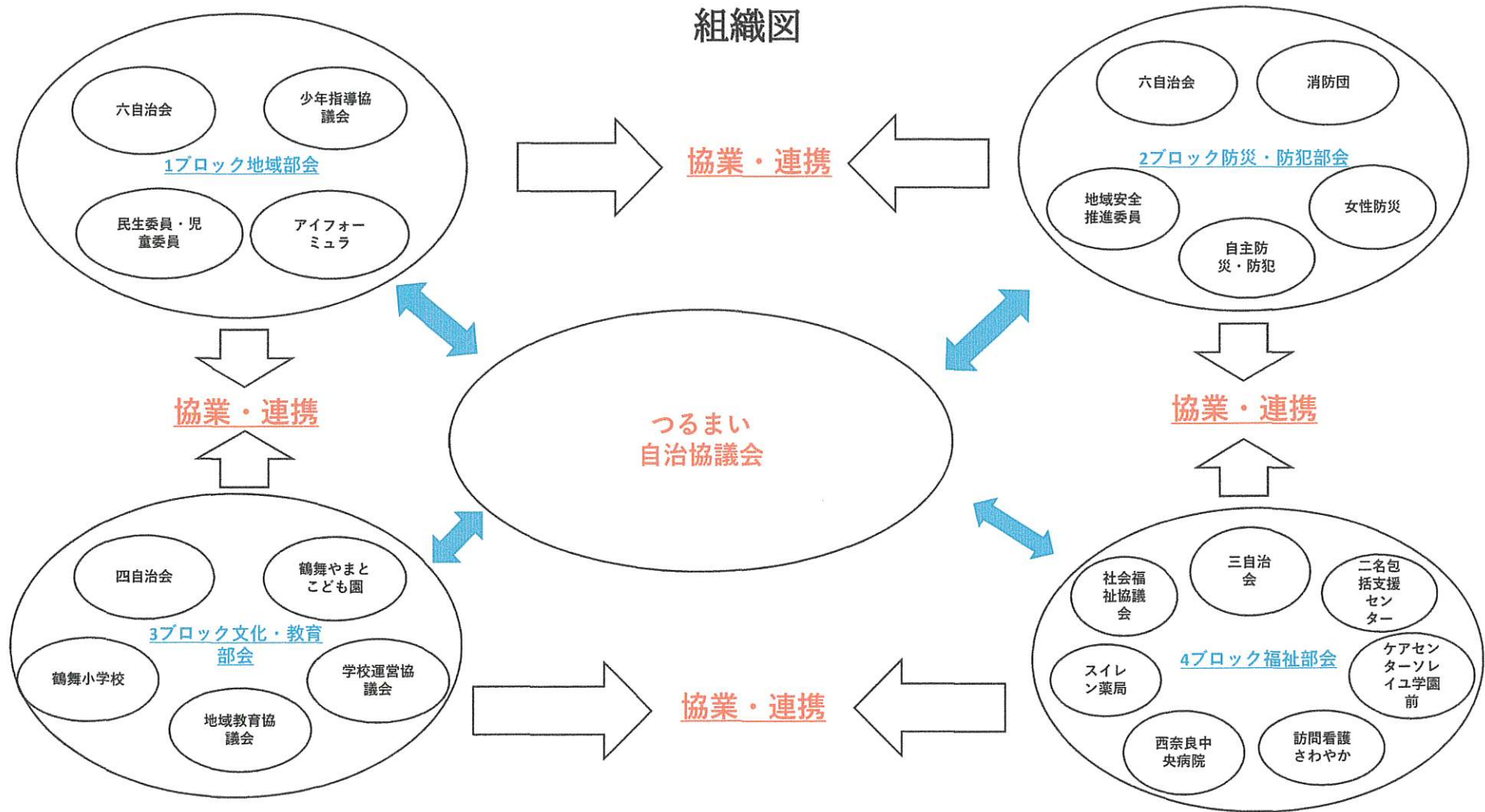
鶴舞地区は南北に長く、避難所（鶴舞小学校）が北に寄っているため災害時などの防災活動にも課題を残しています。また集合住宅と戸建てが混在しており地域内の連携も課題ですが、地域活動への関心も希薄となり、地理的にも学園前駅周辺は整備された住宅地ですが、学園朝日町、学園朝日元町などは狭隘で勾配のある道路となっており、近年公共交通のあり方にも課題となっています。



- ほとんど参加していない
- 自治会などの役目に当たった時は参加している
- 時々参加している
- 良く参加している
- 未回答



組織図



■1ブロック (地域部会)

- ・学園朝日町第一自治会
- ・学園朝日町第二自治会
- ・学園朝日町第三自治会
- ・学園朝日町第四自治会
- ・学園朝日町第五自治会
- ・学園朝日元町一丁目第一自治会
- ・登美ヶ丘中学校区少年指導協議会
- ・民生委員・児童委員
- ・アイフォーミュラ (グループホーム)

■3ブロック (文化教育部会)

- ・学園北二丁目自治会
- ・プレジデント学園前自治会
- ・グラディーナ学園前自治会
- ・学園団地自治会
- ・奈良市鶴舞小学校
- ・鶴舞やまところども園
- ・学校運営協議会
- ・地域教育協議会
- ・鶴舞小学校PTA

協働及び参画団体

■2ブロック (防災・防犯部会)

- ・学園朝日元町二丁目自治会
- ・学園朝日元町二丁目北自治会
- ・エクセルハイツ学園前朝日元町管理組合
- ・鶴舞東町二番自治会
- ・ルネ・プラネシオンあやめ池自治会
- ・あやめ自治会
- ・鶴舞地区自主防災・防犯協議会
- ・消防団 (富雄分団、平城分団)
- ・地域安全推進委員
- ・交通安全指導員

■4ブロック (福祉部会)

- ・奈良学園前・鶴舞団地自治会
- ・グランドビュー学園前自治会
- ・学園朝日元町一丁目第二自治会
- ・奈良市二名地域包括センター
- ・西奈良中央病院ケアプランセンター
- ・すいれん薬局
- ・訪問看護センター さわやか
- ・ケアセンターそれいゆ学園前
- ・鶴舞地区社会福祉協議会

部会の目的

■地域活動部会

地域社会における様々な活動を企画し、推進するための組織です。地域のコミュニティの活性化、地域住民の結束強化、地域の発展促進などを推進します。

■防災・防犯部会

地域社会における災害や犯罪の予防・対策を担う組織です。地域住民の安全と安心を確保することを目的とし地域住民との連携や協力体制の構築を重視しながら、災害や犯罪に対する備えを進める。

■文化教育部会

地域社会における文化や教育の推進や支援を担う組織です。地域社会全体の教育レベルの向上や地域住民の学びの機会の拡充を図り、地域の発展と社会的な活性化を支援します。

■福祉部会

地域社会における福祉の推進や支援を担う組織です。地域の住民が健やかで豊かな生活を送るための機関であり、地域福祉の企画・提案、推進・実施、地域住民の参加促進、地域福祉関連の情報提供などを通し地域の持続可能な発展を支援します。

年間活動及び行事予定

時期 活動及び行事

4月 総会、小学校入学式

毎月 鶴舞地域推進会議、ブロック長会議、定例会、交通安全監視、移動販売、移動支援、TSK会議

隔月 カラオケ大会、特殊詐欺防止活動

定例期 つむぎマルシェ、西部ブロック会議、つるまいシャペール、健康体操

8月 夏祭り、地藏尊祭り

9月 敬老のお祝い

10月 運動会(小学校)

11月 防災訓練・避難訓練、鶴舞フェスタ

12月 餅つき大会

1月 出初式

3月 卒業式

まちづくりの目標

実施計画

今後10年間を見据え、自治会活動の活性化と地域すべての住民が鶴舞地区に住んで良かったと実感できる街づくりを目指すための計画とする。

実施計画：短期計画（1年から5年）

- ・自治会活動を持続可能な活動にするための取り組み（自治会間の連携強化、地域活動への積極的に参加できる体制作り）
- ・他団体との連携強化（ブロック内での議論を深め各ブロックの専門部会化を進める）
- ・地域の特性を鑑み、課題解決に向けた事業展開を実施（移動支援事業）
- ・学校や他団体との連携を深め地域のイベントを充実させる。（鶴舞フェスタ、防災訓練）
- ・工事が複数実施される事による住生活の安全確保（高齢者向け分譲マンション、学園前北地区開発、鶴舞橋耐震工事等）

実施計画：中長期計画（5年～10年）

- ・働き方改革が進む中、地域内の公共施設への積極的に人材活用を進めていく（学校内清掃等）
- ・高齢者の見守りを実施と共に生活支援を実施（ゴミ出し、清掃等）
- ・地域内の生活道路安全確保（車道と歩道の識別、通学路の安全対策、バリアフリー化の推進等）
- ・地域内に福祉施設が増加傾向であり、地域活動への参加及び連携強化（自治会への加入促進）
- ・地区内にある公共施設の利活用（給水塔や公園などの整備等）

今後の展望

鶴舞地区の独自性と歴史を活かしながら、未来への希望を新たな挑戦「安心」「協力」「持続可能性」「成長」

1. 未来を見据えた目標の中心に地域の安全と活力を

「安心・安全な街づくりを通じて、地域全体が新たなコミュニティを築く」

- ・地域の連携を強化して情報共有の効率化を図る。
- ・少子高齢化に対応した柔軟な自治運営を実現する。
- ・防災力を向上させ、災害発生時の迅速な対応を可能にする。

2. 人と人をつなぐコミュニティの実現

「人が集い、助け合い、未来を築くまちづくり」

- ・PTAや地域活動団体の役割を強化し、次世代の育成に力を入れる。
- ・多様なバックグラウンドを持つ住民との交流を促進し、新しいアイデアを生み出す。

3. 自然災害への対応を重要課題として明確化

「災害に強いまちづくり」

- ・地域防災・防犯協議会の活動をさらに具体化・充実させる。
- ・定期的な訓練や情報発信により防災意識を向上させる。

4. 自治会の新しいあり方を模索

「柔軟で持続可能な地域自治の実現」

- ・若年層や新規住民が参加しやすい自治会活動の仕組みを設計する。（ブロック制を導入）
- ・ネットを活用して効率化を図る。